

84.5%と多く認められた。初診時の骨髄所見では、正～過形成が多かった。染色体分析であるが、症例数の多かった RA に15例認められ-Y が5例であった。経過であるが、RA からは、AML へ移行1例、RAEB へ移行1例であり、予後良好であった。いわゆる骨髄不全の状態となり死亡する症例は7例あった。RAEB、RAEBinT は、これまでの報告どうり高率に白血病へ移行した。RA と比し予後不良であった。

4) JALSG AML 97 protocol の治療経験

鈴木 訓充	阿部 崇	
矢野 敏雄	増子 正義	
佐藤 直明	樋口 涉	
新国 公司	鳥羽 健	
青木 定夫	布施 一郎	(新潟大学)
相澤 義房		(第一内科)
橋本 誠雄	古川 達雄	(同 無菌治療部)
小池 正		(同 輸血部)

1998年5月より1999年10月現在までに当科において JALSG AML97 protocol により加療した AML の8症例の現況をここに報告する。年齢は16歳から43歳であった。8例のうち M2 が6例、M0、M4 がそれぞれ1例であった。寛解導入療法は IDR+Ara-C による set 治療で行われたが、1回の治療で CR が得られた症例は5例で、2例において2回の寛解導入療法を要した。また、1例においては別の regimen による追加の治療を施行した。寛解が得られた時点で年齢、MPO の陽性率、白血球数、FAB 分類、PS、染色体、寛解までに要した治療の回数により患者を scoring により層別化を行うが、good risk group は6例、intermediate risk group、poor risk group はそれぞれ1例であった。

8例を経験し以下のような問題点が考えられた。

1. CNS involvement を認める症例に対しての対応が明記されていないこと。

2. プロトコールによる寛解導入療法で CR に至った症例のみが登録され、failure 例は解析から除外されること。

3. 十分な層別化といえるかどうか。(CD7、CD56 陽性例、7番染色体異常や MLL 関与例、LDH の高値など)

4. 1回目の寛解導入療法後、芽球が残存している症例を3例認めた。このときに set 治療を継続するか、或は individualized させた治療を追加するか苦慮する症例がある。

新潟精神医学会

日 時 平成11年9月25日(土)
午後1時より
会 場 六日町温泉
「ほてる木の芽坂」

一 般 演 題

A-1) In vitro での bromperidol 代謝における CYP3A4 の関与についての研究

佐藤 聡	(中条第二病院)
染矢 俊幸・塩入 俊樹	(新潟大学 精神医学教室)
小坂橋朋巳	(国立療養所犀潟病院)
井上 義政	(吉富製薬株式会社 研究本部九州研究所 薬物動態研究部)

【目的】ヒト cytochrome P 450 (CYP) 発現系酵素 (CYP1A2, CYP2C19, CYP2D6 及び CYP3A4) を用いて、①還元型 bromperidol (RB) から bromperidol (BPD) への酸化経路、②BPD から 4-(p-bromophenyl)-4-hydroxypiperidine (BPHP) への酸化的脱アルキル化経路、③RB から 4-(p-bromophenyl)-4-hydroxypiperidine (BPHP) への酸化的脱アルキル化経路、④BPD から bromperidol 1, 2, 3, 6-tetrahydropyridine derivative (BTP) や bromperidol pyridinium (BP⁺) を生成する経路の4つの代謝経路に關与する CYP 分子種の同定を行った。

【方法】HPLC 法を用いて、生成された BPD、BPHP、BTP、BP⁺の測定を行った。

【結果】RB から BPD への酸化反応に關与する CYP 分子種は CYP3A4 のみであった。CYP1A2、CYP2C19及び CYP2D6 の関与は認められなかった。代謝物量は 6.36 ± 0.72 nmol/mg microsomes/hr、Km 値は $61.5 \mu\text{M}$ 、Vmax は 0.186 nmol/mg/min であった。BPD から BPHP への酸化的脱アルキル化反応に關与する分子種は CYP3A4 のみであり、代謝物量は 4.99 ± 0.45 nmol/mg microsomes/hr、Km 値は $50.6 \mu\text{M}$ 、Vmax は 0.121 nmol/mg/min であった。RB から BPHP への酸化的脱アルキル化反応に關与する分子種も CYP3A4 のみであった。代謝物量は 1.99 ± 0.03 nmol/mg microsomes/hr、